

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年9月17日(2009.9.17)

【公表番号】特表2009-504604(P2009-504604A)

【公表日】平成21年2月5日(2009.2.5)

【年通号数】公開・登録公報2009-005

【出願番号】特願2008-525548(P2008-525548)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/46 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

C 0 7 D 451/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/46

A 6 1 P 11/06

C 0 7 D 451/12

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月31日(2009.7.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

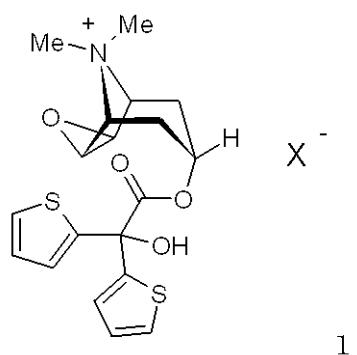
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記のチオトロピウム塩<sub>1</sub>の使用であって、



(式中

X<sup>-</sup>は、1価の負電荷を持つアニオンを示し、水和物及び/又は溶媒和化合物の形であつてもよい。)

重症持続型喘息患者の治療を目的とした薬剤の製造のための使用。

【請求項2】

アニオンが、塩化物イオン、臭化物イオン、ヨーヒ化物イオン、硫酸イオン、リン酸イオン、メタンスルホン酸イオン、硝酸イオン、マレイン酸イオン、酢酸イオン、クエン酸イオン、フマル酸イオン、酒石酸イオン、シュウ酸イオン、コハク酸イオン、安息香酸イオン及びp-トルエンスルホン酸イオンからなる群から選択される、請求項1に記載の使用。

【請求項3】

重症度がGINAステップ4の喘息に罹患している患者の治療を目的とした請求項1または

2のいずれかに記載の使用。

【請求項4】

吸入コルチコステロイドを用いた治療にもかかわらず持続する症状を示す患者の重症持続型喘息の治療薬の製造のための請求項1～3のいずれか1項記載の使用。

【請求項5】

吸入<sub>2</sub>アゴニストを用いた治療にもかかわらず持続する症状を示す患者の重症持続型喘息の治療薬の製造のための請求項1～3のいずれか1項記載の使用。

【請求項6】

吸入コルチコステロイドと、長時間作用性<sub>2</sub>アゴニストの併用治療にもかかわらず、持続する症状を示した患者の重症持続型喘息の治療薬の製造のための請求項1～3のいずれか1項記載の化合物の使用。

【請求項7】

重症持続型喘息の治療の為の薬剤の製造のため、患者が子供である場合の請求項1～6のいずれか1項に記載の使用。

【請求項8】

吸入型コルチコステロイドと長時間作用性<sub>2</sub>アゴニストによる維持管理薬療法で十分にコントロールできない患者の重症持続型喘息の維持療法および気管支閉塞症状の予防に用いる薬剤の製造のための請求項1～7のいずれか1項に記載の使用。

【請求項9】

吸入型コルチコステロイドと長時間作用性<sub>2</sub>アゴニストによる維持管理薬療法で十分にコントロールできない患者の重症度GINAステップ4喘息の維持療法および気管支閉塞症状の予防に用いる薬剤の製造のための請求項1～7のいずれか1項に記載の使用。

【請求項10】

重症持続型喘息の治療を目的としたサードラインの維持管理薬療法における請求項1～7のいずれか1項に記載の使用。

【請求項11】

単回投与量中の活性物質であるチオトロピウム<sup>1'</sup>の量が1～20μgであることを特徴とする請求項1～10のいずれか1項に記載の使用。